

フロリダ大学留学体験記

8月13日にアメリカ・フロリダ州に到着し、フロリダでの生活が始まってから、約3週間が経ちました。日本食が恋しいです。ラーメンが食べたいですね。現在は授業が始まって2週目の金曜日です。フロリダ大学での生活が始まれば少し落ち着くことができていたと思いますが、実際にこちらで生活してみると、到着してからもやることが多く、想像していた以上に慌ただしい毎日をたぶん過ごしています。

まず、到着して最初に感じたことは、「とにかくすべてが高い」ということです。日本で生活していたときと比べると、食料品や日用品、外食など、何を買っても高い！特に外食をすると、商品の値段だけではなく、税金やチップなども加わるため、思っていた以上にお金がかかります。

また、これからフロリダ大学への留学を考えている人に伝えます。住居についてなのですが、私は留学前、大学のキャンパス内にある寮に入ることを選択肢の一つとして考えていましたが、実際には留学生が大学内の寮を確保することはかなり難しいです。ほぼ不可能です。現在、フロリダ大学ではいくつかの寮で取り壊しや改装工事が**数年**かけて行われており、部屋自体が限られています。そのうえ、当然交換留学生は基本的に在学生よりも住居を確保する際の優先度が低いため（1年未満しか滞在しないから）、大学内の寮を最初から当てにするのはおすすしめしません。在学生でも取れません。しかし、春学期から留学した翔一朗さんとはれたみたいなので彼はラッキーですね！！うらやましい



そのため、住居を探す際には、大学のキャンパス周辺にあるアパートなども早めに探しておく必要があります。特に個人的には、キャンパスの右上側のエリアを目指して探すことをおすすめします。しかし北に行き過ぎるとギャングがいるらしいです。キャンパスの下側は住宅を探すという点ではあまりお勧めできません。なにもありません。車ないと終わりです。交換留学生のほとんどは、キャンパス外の右上にあるフロリダ大学が運営する寮に住んでいる人がほとんどです。いい値段します。もし時間に余裕があるのであれば、大学が運営する住居だけに絞らず、いろいろな物件を比較しながら探すことをおすすめします。



保険の手続きや大学関係の登録、授業、食料の確保など、到着してからやることがたくさんありました。特に食料については、アメリカでの物価の高さもあり、毎日の食事をどうするかを考えることも留学生活の重要な課題の一つです。私自身、到着して約2週間経った現在でも、保険関係の手続きなどで忙しい日々を送っています。この時に役に立つのが他の日本人交換留学生です。私は何一つ自分でした覚えがないくらい全部聞きました。

ありがたいことに、フロリダ大学では留学生や学生向けに、週に1回程度、食料を無料でもらえる機会があります。こうした大学のサポートは、実際に生活してみると非常にありがたく感じます。留学前には大学の授業やイベントばかりを調べていましたが、実際に来てみると、こうした生活面のサポートを知っているかどうかはかなり重要だと感じました。

まだ留学生活が始まって3週間ほどしか経っていませんが、すでに日本にいたときとは全く違う経験をたくさんしています。真新しい経験をしているという点ではまったく日本に戻りたくないですね。お金の問題や住居、時差ぼけ、保険、食事など、想像していなかった苦労もた

くさんあります。良い留学生活にしていきたいです。

